

独立行政法人水資源機構  
木津川ダム総合管理所

配布日時 平成19年 9月21日  
15時00分

資 料 配 布

件 名

室生ダム水質調査結果（簡便法による速報値）

概

独立行政法人 水資源機構 室生ダムにおいて、アオコの発生により監視強化や臨時の水質調査等を行ってきました。今回、水質調査結果（簡便法による速報値）についてお知らせします。

要

- ・アオコが産出する毒性のあるマイクロキスティンが、県取水口表層において最大13.05 $\mu$ g/l（総マイクロキスティンとして1リットル中に13.05マイクログラム）検出されました。
- ・水道水においては、マイクロキスティンは、浄水場の通常の塩素処理により分解されるので安全です。
- ・貯水池表層に集積しているアオコが下流へ流出しないように、放流設備の放流水深を変更して運用していきます。
- ・アオコ回収船を稼働させ、回収に努めています。
- ・水面監視の強化、水質調査を継続しています。

取 り 扱 い

テレビ・ラジオ： \_\_\_\_\_  
新 聞： \_\_\_\_\_

配 布 場 所

奈良県政記者クラブ  
名張市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所  
副所長 中谷 亨一（なかたに きょういち）  
0595-64-8961（代）

室生ダム管理所  
所長代理 赤尾 博史（あかお ひろし）  
0745-92-2320（代）

## (概要)

独立行政法人水資源機構 室生ダムにおいて、9月18日の巡視中に、藍藻類マイクロキスティス等によるアオコの発生を確認したため、臨時の水質調査を実施してきました。

## (結果等)

9月18日採水の分析においてアオコを構成する藍藻類マイクロキスティスが産出することがある毒性のあるマイクロキスティンが、室生ダムの県取水口表層で総マイクロキスティンとして最大13.05  $\mu\text{g}/\text{l}$  (1リットル中13.05マイクログラム)が確認されました。県取水口地点(取水深)及び放流水については、総マイクロキスティンは定量下限値未満でした。

また、国土交通省木津川上流河川事務所において実施した、下流河川(室生路橋地点、家野橋地点)における結果についても、総マイクロキスティンは定量下限値未満でした。

昨年度(平成18年度)は、8月から11月にかけて室生ダム貯水池でアオコが発生し、下戸橋地点の表層において総マイクロキスティンとして最大10.93  $\mu\text{g}/\text{l}$  (10月3日採水)が確認されましたが、取水設備の運用やアオコの回収などにより、特に水道水への影響などの問題は発生していません。

## (対応)

アオコの発生を確認して、下記の対応を行っています。

### 巡視の強化

ダム貯水池の監視を強化しています。

### 調査の継続実施

引き続き臨時の水質調査を行います。(9月25日採水予定)

また、調査結果等については、水道事業者等の関係機関に伝達するとともに、ホームページ上で速やかに公表します。

水資源機構木津川ダム総合管理所 <http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa>

### アオコの回収

アオコ回収船の稼働により、アオコの濾過回収を行っています。

### 下流及び水道取水への影響の軽減

放流設備の放流水深の変更により貯水池表層に集積しているアオコが下流へ流出しないよう運用していきます。

### 水道水への影響

水道水においては、マイクロキスティンは、浄水場の通常の塩素処理により分解されるので安全です。

## 水質調査結果(速報値)

総マイクロキスティン( $\mu\text{g}/\text{l}$ )

地 点	9月18日採水	調 査 機 関
ダムサイト(基準点)(表層)	1.15	水資源機構 木津川ダム総合管理所
放流水	< 0.15	
県取水口(表層)	13.05	
県取水口(取水深)	< 0.15	
下戸橋下流(表層)	8.55	国土交通省 木津川上流河川事務所
室生路橋	< 0.15	
家野橋	< 0.15	

表中の< 0.15は、簡便法による定量下限値未満

## (参考)

- ・飲料水についてのWHOの暫定的なガイドライン値は、マイクロキスティン(LR, RR, YR)のうち、マイクロキスティンLRについて、1  $\mu\text{g}/\text{l}$ です。

(参考) 室生ダム水質調査地点・アオコ集積状況 (9月21日)

